

### <ラウンドテーブル>

企画者のテーマ（興味・関心・問題意識）に即して、参加者同士が自由に意見を交換する場で、持ち時間は90分です。他の発表と同時に応募することができます。

### <自主セッションワーク>

今大会初めての企画です。音楽療法士自身の気づきが得られることを期待して、音楽療法士が音楽療法をクライエントとして受ける機会を作りました。貴方のセッションをみんなに実施してください。楽器は企画者各自でご用意ください。

### <研究発表、ラウンドテーブル、自主セッションワークの応募方法>

- ・近畿支部ホームページの「演題募集のご案内」、「ラウンドテーブルのご案内」「自主セッションワークのご案内」をご確認ください。
- ・発表要旨の様式、誓約書、同意書、申込書は、近畿支部ホームページ近畿大会案内ページからダウンロードできます。

### <展示販売>

2日間とも、音楽療法関連の書籍・民族楽器を含む楽器や小物を、協賛店の協力を得て多数展示販売を予定しています。この機会にぜひ新しい楽器や書物にお会いください。

### <参加される方へ>

- ・要旨集、講習会資料はすべて電子化し、大会サイトからダウンロードできます。紙媒体のものは配布しませんのでご了承ください。
- ・各項目の詳細は、近畿支部ホームページの近畿学術大会ホームページに順次掲載します。

### お問い合わせ

一般社団法人 日本音楽療法学会 第24回近畿学術大会実行委員会事務局  
〒610-0395 京都府京田辺市興戸 同志社女子大学 学芸学部 音楽学科 北脇ゼミ研究室  
Email:mt.kinkitaikai@gmail.com



近畿支部ホームページ：  
<http://www.jmtak.com>

一般社団法人

# 日本音楽療法学会 第24回近畿学術大会

The 24th JMTA Kansai Chapter Conference

今『私』を振り返ろう

Time to Reflect on Our Abilities  
as Music Therapists

### 学術大会・総会

開催日 2026年3月14日(土)・15日(日)  
会場 同志社女子大学 今出川キャンパス  
(京都府京都市上京区今出川通寺町西入)  
京都市営地下鉄 今出川駅[出口3] 徒歩5分

### オンデマンド講習会

2026年3月9日(月)～22日(日)

主催:一般社団法人 日本音楽療法学会 近畿支部

## <学術大会プログラム> 対面開催

- ◆ 研究発表
- ◆ ラウンドテーブル
- ◆ 自主セッションワーク
- ◆ 総会
- ◆ 楽器・書籍展示販売

詳細については近畿支部ホームページ (<http://www.jmtak.com>) でご確認ください。

## <オンデマンド講習会> Web 開催

講師のプロフィールと概要は近畿支部ホームページをご覧ください。

講義	講師
“声”のチカラでフレイル対策	山田 実（筑波大学 教授）
総合診療から学ぶ全人的ケア 一对話とスピリチュアルケアを手がかりに	孫 大輔（鳥取大学 准教授）
学校現場で見えてくる虐待・ネグレクトや 不登校などの子どもの問題について学ぶ	吉野 徳一郎（公認心理師、スクールカウンセラー）
阿波踊りを活用した健康体操の開発と その機能・効用に関する研究について、 健康運動や療法的視点をふくめ技法を学ぶ	田中 俊夫（徳島大学 教授）

## <参加登録、演題応募等の期間>

	応募開始日	締切日
研究発表の応募	2025年11月1日(土)	2025年12月21日(日)
ラウンドテーブルの応募	2025年11月1日(土)	2026年1月12日(月・祝)
自主セッションワークの応募	2025年11月1日(土)	2026年1月12日(月・祝)
学術大会、講習会の参加登録	2025年12月1日(月)	2026年2月8日(日)

## <参加費>

	学術大会（2日間）	オンデマンド講習会
	事前 12/1～2/8	当日 事前のみ 12/1～2/8
正会員	4,000円	5,000円 6,000円 /4講座
学生会員	1,000円	1,000円 3,000円 /4講座
一般	5,000円	6,000円 7,000円 /4講座

※参加方法、申し込み方法など詳細が決まりましたら近畿支部ホームページに掲載します。

## <研究発表>

発表形式：口頭発表（15分発表、5分質疑応答）

- ◆ 応募資格：日本音楽療法学会会員であれば他支部の会員も応募できます。

詳しくは近畿支部ホームページをご覧ください。

### ◆ 演題募集カテゴリー

- ①事例・実践的研究：様々な対象者や現場における事例の研究。報告など
  - ・小児から高齢者までの事例（子どもの発達を促した事例、人生の節目に焦点をあてた事例など）
  - ・医療領域（精神障害、認知症、緩和ケア、グリーフケアなど）
  - ・福祉領域（介護施設など）
  - ・保健領域（健康教室、認知症予防、介護予防、介護者と環境への介入、自助グループなど）
  - ・教育領域（特別支援学校、障害児を対象とした音楽教室など）
  - ・その他
- ②基礎・方法論的研究：実践の裏付けや基礎となる理論、学術的検討など
  - ・音楽療法の理論やモデルに関する研究
  - ・音楽療法周辺分野の理論やモデルに関する研究（医学、心理学、社会学、生理学、神経科学など）
  - ・実践的研究、調査研究、文献研究など
  - ・その他
- ③技法・方法論的研究：音楽療法の技法や方法に焦点をあてた研究
  - ・リモートセッション
  - ・療法現場での工夫（治療構造の工夫、楽器の使い方、即興演奏法の種々、コミュニティ音楽療法、受容的療法の技法など）
- ④その他、自由テーマ：①②③に含まれないテーマ、問題、領域など
  - ・音楽療法士に関すること（療法士の働き方、セルフケア、雇用、保険、養成、教育、スーパービジョンなど）
  - ・連携に関すること（他の資格との関係、多職種との連携、地域連携、行政との連携など）
  - ・その他